

令和3年度 第75回関東高等学校女子バスケットボール大会

令和3年6月12日(土) Bブロック 1回戦 ALSOKぐんまアリーナ Cコート 第2試合

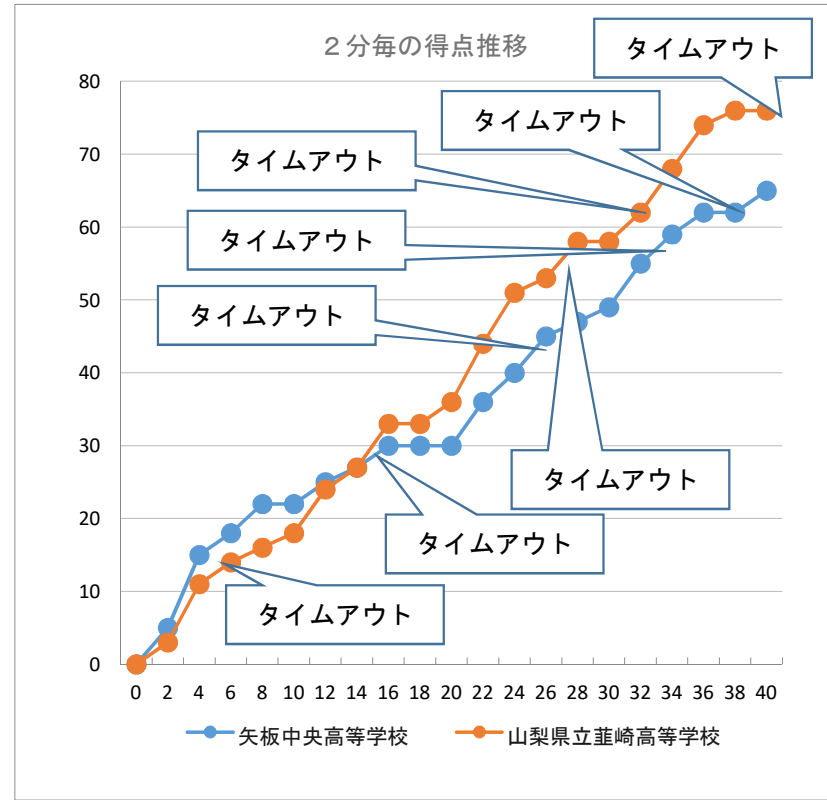
チームA	65	22	1st	18	76	山梨県立韮崎高等学校 (山梨県)	チームB
矢板中央高等学校 (栃木県)		8	2nd	18			
		19	3rd	22			
		16	4th	18			
		OT					

Aチーム: 矢板中央高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1		1	郡司 愛											
2		2	小林 芽依											
3		3	佐久間 唯愛	4	0	1	2	3	0	0	0	1	5	6
4	*	7	西山 歩	13	0	2	4	13	5	5	2	3	9	12
5	*	9	田崎 加寿紗	22	1	6	9	14	1	4	0	1	5	6
6	*	10	上岡 こころ	6	1	1	1	6	1	2	1	2	1	3
7		15	上岡 瑚凜											
8	*	28	白井 歩乃佳	4	0	0	2	6	0	2	0	2	3	5
9		33	齋田 萌生											
10		42	樋口 波音	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1
11		65	山木 柚奈											
12		76	増淵 真実	0	0	1	0	2	0	1	0	1	1	2
13	*	77	中村 七星	15	0	0	6	0	3	0	0	0	0	0
14		87	刈部 花南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15		88	相馬 和加菜											
HC/TEAM			長田 美華											
合計				65	2	11	24	45	11	16	3	10	25	35

Bチーム: 山梨県立韮崎高等学校

	S	No.	氏名	PTS	3P FG		2P FG		FT		F	REBOUNDS		
					M	A	M	A	M	A		OR	DR	TOT
1	*	4	河野 しずく	6	2	2	0	0	0	0	3	1	0	1
2	*	5	志村 百萌香	29	7	17	4	12	0	0	2	0	5	5
3		6	内藤 栞奈	11	1	8	4	7	0	0	1	4	7	11
4	*	7	福島 那菜	16	0	1	7	14	2	2	4	5	10	15
5	*	8	赤澤 璃杏	8	0	1	4	15	0	0	3	3	0	3
6		9	太田 礼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
7		10	田中 海麗											
8	*	11	末木 絵梨	4	0	1	2	7	0	0	5	4	4	8
9		12	星野 藍											
10		13	磯部 真菜											
11		14	新海 萌花											
12		15	浜口 もも											
13		16	秋山 真夢											
14		17	石川 琴子											
15		18	天野 結衣	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0
HC/TEAM			仲田 浩士											
合計				76	10	30	22	57	2	2	19	17	27	44



戦評 記者者: 羽鳥 綾 (群馬県高体連)

1Q:両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで試合開始。#7の鋭いドライブからリズムをつかむ矢板中央に対し、韮崎はディフェンスリバウンドからの速い攻撃で得点の機会を伺う。矢板中央の速攻やインサイドプレイを韮崎は守り切ることができず、22-18矢板中央リードで1Q終了。

2Q:立ち上がり、韮崎がディフェンスリバウンドを確実に取りその後の攻撃で得点へと繋げ、同点に追いつく。矢板中央は堅実なパス回しと力強いインサイドプレイで攻め、一進一退の攻防が続く。開始4分でタイムアウトを取った韮崎は、#5、#6の連続3Pにより逆転に成功する。シュートが決まらない矢板中央に対し、オフェンスもディフェンスもうまく機能し始めた韮崎がリードのまま30-36で前半終了。

3Q:矢板中央はディフェンスを1-2-2ゾーンプレスに変え、逆転のチャンス伺うが、韮崎が#5の連続3Pと#6のドライブでリードを広げる。点差を縮めたい矢板中央は、激しいディフェンスからリズムを作り韮崎のミスを誘うと、#9の連続得点や#28のインサイドプレイで一時的点差まで追いつく。矢板中央が粘るが、韮崎はリバウンドを死守し49-58とリードを広げたまま最終ピリオドへ。

4Q:4Q開始直後、#77の力強いドライブが成功し、矢板中央が流れをつかむ。ゾーンプレスと#9のバスケカウント、アウトサイドのシュートが立て続けに決まり1点差へ。たまたま開始1分で韮崎がタイムアウトを要求。2-2-1ゾーンプレスに切り替えた韮崎は、ディフェンスリバウンドを確実におさえ、スペースをうまく使った攻撃で再びリードを広げる。最後まで攻め続けた矢板中央であったが、リバウンドと対応力で勝った韮崎が2回戦に進んだ。

主審	第1副審	第2副審
嶋崎 貴 (東京)	大坪 綾音 (千葉県)	星河 聖 (群馬県)